



那覇市立教育研究所

# 研究所だより



那覇市金城3-5-3

Tel 917-3441 Fax 857-8681

naha-c@naha-c.nahaken-okn.ed.jp

所長 田中 浩三



大きな節目の中で、一年を振り返る、

所長 田中 浩三

本年度は当研究所にとっては様々な出来事があった。

【その一つに】、那覇市が中核市に移行し、県から初任研や十年研の法定研修等が移譲された記念すべき年となった。研修の計画段階から実施に至るまで所員一丸となって取り組み、また関係者のご協力もあり、計画通り全てを終えるに至った。全体的に研修の礎を築くことに貢献できたと考えている。

【二つに】、今年度は市教委内での「情報の一元化」により、学校パソコン事業等が全て当研究所へ移管され、パソコンの計画的購入や保守点検等を当研究所がはじめて担うことになった。

【三つに】、電子黒板（中学校全学級、小六全学級）やタブレット端末（二九〇台）が小中学校に導入された。そのため研修充実を図ったり、ICT支援員（六名）を学校に派遣して、ICT活用教育に本格的に取り組んだ。

【四つに】、教育研究員の研修制度が一九六四年よりスタートして以来「一〇〇期」という記念すべき年を迎えた。これまで二三名の所長と六〇名の指導主事が関わり、七二九名の研究員が巣立っており、当研究所の役割の大きさを確認した年でもあった。

【五つに】、「調査・研究」業務では、標準学力調査が中学校一・二学年以外に小学校一・四学年ではじめて実施された。このように、一年を振り返ったとき、多くの事業等がスタートするという節目の年でもあった。

一方、他の研修事業においては、各学校の「授業改善」等に力を入れた一年でもあった。

例えば、各種研修講座（四二回）にのべ一五三〇名の市内教員の参加があり、また各学校の校内研修等の指導主事要請が二二二回もあった。両者とも昨年度の実績を上回っており、学力向上や授業改善における研究所への期待や役割が一段と高まっていることを感じた。

以上、研究所の主な出来事を振り返る中、「直面している課題を積極的に取り上げ、教育実践に結びつけた教育活動を推進する」という方針を踏まえ、今後とも学校の充実・発展に寄与する大切さを感じた一年であった。

結びに、研究所へ赴任して三年間、学校課題等の解決に向け取り組んできたが、その一助となる所もあったのではないかと考えている。これまでお世話を受けた多くの皆様には心から感謝を申し上げます。

## 第101期 研究員 原稿検討会 所内講座

3月7日(金) 「自然散策@宜野座村・屋我地・恩納村」

今の地球が何万年、何億年とかけてできたことの一部をみる事ができ、地球ではいろいろな地殻の変動があったことを想像すると本当にすごいと感じました。（山里）

何万年前の沖縄の姿が、生痕や地層の重なり方から見る事ができるということ、地層の重なりの特徴を知ること、環境的な変化が分かることなど、これからも興味をもって沖縄を知りたいと感じました。（村吉）



大城逸朗先生



3月11日(火) 「ミドルリーダーに望むこと」

学校では教師が考えを変えることや指導の仕方、生徒が変わっていくことを改めて感じた。（山里）

いよいよ4月から現場に戻り、業務をリードしていく立場になります。上地先生の熱いお話を聞いて、現場をもっとよくしていきたいという気持ちになりました。（新里）

仕事をちょっとした遊び心で発想を転換し、子どもも教師も学校が楽しい場になるように頑張っていきます。（池田）

何かを始める時に、これまで通りではなく、ちょっと発想を変えて考え、実行することで、新しい発見と学びにつながると感じました。（村吉）



上地幸市先生



2月14日(木)15日(金) 「原稿検討会」が行われました。

事例について、話し手の表記や内容の配置など、自分が思い浮かばなかったアイデアをいただき、まとめるための突破口が見つかりました。（池田）

学習課題を立てたあとにどのような調べ学習や体験学習をして社会的な見方・考え方がついてきたのかがわかるように整理し、その過程でついた見方・考え方が見えるように書き直していきたいと思います。（新里）

実践を踏まえると「感想を持つ力」を定着させるために取り入れた単元を貫く言語活動（往還させた読み）を行ったことも効果的であったことが見えてきたので、研究の当初とは違う発見と深まりがありました。（村吉）



「学び合いの工夫」と「数学的な見方や考え方を育む」ことがどのようにつながっているのかを検証できるように、考察していきたい。（山里）

2月24日(月) 「伝える力：話し方講座」



吉田文子先生

スピーチにおける話し方を丁寧に教えていただき、自分の話し方について、客観的に考えることができました。（池田）

私は口がもう少し開いた方がいいことやアイコンタクトをしっかりとできるように意識して勉強しました。3月27日は堂々と発表ができるように準備していきたいです。（新里）

## 平成25年度初任者研修

2月20日(木)、課題研究報告書が行われました。教科や領域など12グループに分かれて報告し、指導助言を受けました。



3月12日(水)、大名小 佐々木りん子校長の講演会が行われました。引き続き所属校校長、拠点校指導員等の列席のもと、閉講式が行われました。

小学校教諭 40名、中学校教諭 26名、計 66名の研修が修了しました。



佐々木りん子  
校長



我那覇翔太  
教諭



儀間枝理奈  
教諭



喜瀬乗英部長



城間幹子教育長



森田浩次  
副部長

## 平成25年度教職10年経験者研修

2月13日(木) 特定課題研究の報告会が行われました。教科や領域などグループに分かれて報告し、指導助言を受けました。



引き続き、閉講式が行われました。

小学校教諭 22名、中学校教諭 13名、計 35名の研修が修了しました。



田中浩三所長



比嘉 英 教諭



島村育与 教諭



渡辺英二  
学校教育副参

## 大変お世話になりました♡

人事異動に伴い、本研究所にも次年度より転勤する職員がおります。

### 教育研修 G



田中浩三  
所長



上江洲朝男  
指導主事



比嘉真一郎  
指導主事



神元賢治  
主幹

第23代所長として、研究所運営全般にわたる所内の和を大切にしながら所務を統括し、情報教育の推進や教育実践に結びついていた教育活動の推進に尽力頂きました。

主に教育課題・夏期授業実践講座を担当しました。また、校内研修等ではたくさんの方の学校で活躍して頂きました。

主に初任者研修・NARAEネットを担当しました。特に中核市移譲研修について中心となって活躍して頂きました。

主に研究所全体の運営を担当し施設の設備、他課・他機関との調整、書籍の購入等に活躍して頂きました。

### 情報支援 G



宇良留美  
図書非常勤



上原昭則  
主査



田島早苗  
保守非常勤



仲栄真盛史  
保守非常勤

主に図書室運営、レファレンスサービスを担当しました。学校のニーズに答えられるよう整理・準備に活躍して頂きました。

主に学校PCの保守管理や、情報関連機器等を担当しました。機器が各学校で支障なく利用できるよう活躍して頂きました。

主に学校PCの保守点検や校内ネットワーク環境の維持管理に活躍して頂きました。

主に学校PCの保守点検や校内ネットワーク環境の維持管理に活躍して頂きました。

## 研究所からのお知らせ

### インストラクター派遣事業

学校における教育の情報化推進のためにインストラクターを派遣し、児童生徒の情報活用能力及び教師の指導力向上に寄与することを目的としています。

《これまでの活用例》

○教職員向け……HP 作成や更新, Excel・PowerPoint 操作, SKYMENU 基本操作他

○児童生徒向け…Net モラル, PowerPoint, ジャストスマイル

**NARAE ネット** (市教委と琉大教育学部との連携・協力事業)

琉球大学の先生方を学校にお招きして教材研究・授業づくり・指導法等と一緒に研究することができます。

★詳しくは 研究所HP をご覧ください。

## 今月のお勧め

### 『電子黒板で授業が変わる』

電子黒板の活用による授業改善と学力向上』

清水康敬 編著 高陵社書店 2006

いま必要なのは、ICT 活用教育による学力向上にむけた授業改革です。パソコンの画面に手書きができる電子黒板によって、「わかる授業」「興味関心を高める授業」「学力向上につながる授業」が実現できます。本書は、これからの時代の教育の羅針盤とも言えるものです。

立命館大学教授 影山英男【本書帯より】



図書室にて貸し出ししています♪